

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		5-	3
事業名	住民活動支援事業	会計	款	項	目
		一般	2	1	6
施策	6 語らいのあるまち	課名	町民課		
	6-1 町民参画のまちをつくる	係名	町民活動係		
	6-1-1 協働によるまちづくりの推進				
主要施策	④町民団体、ボランティア等の育成・支援				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	NPO、市民活動団体	目的 (対象がどのような状態になっているか)	どういん市民活動支援センターを主体として、市民活動団体の活動支援を行うことで、住民にとって市民活動をより身近なものと感じられるようにし、以ってまちづくりに参加しやすい土壌をつくる。
事業内容	住民活動支援事務…平成28年6月に「どういん市民活動支援センター」を町総合文化センターの2階のオープンスペースに開設し行政が直接運営するようになった。市民活動に関する情報、活動状況、課題などを共有し市民活動団体を支援することによって、市民活動団体自らが町運営の一翼を担えるような団体として成長するよう事業を展開していく。 世話焼き人事業…平成28、29年度に実施した世話焼き人講座受講者のうち任意で残った方たちと継続的な打ち合わせを行いながら市民活動に繋がるよう支援を行う。 シルバー人材バンク（個人ボランティア登録）の立ち上げを市民活動支援センターで行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	住民活動登録団体数	72	73	75	団体	↑	75
2	NPO認証法人数	3	3	2	団体	↑	8	
3	地域活動やボランティア活動に参加している人の割合	-	-	-	%	↑	48	
4								
5								
			平成30年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			11,145		8,954		9,021	
財源内訳	直接事業費 A		3,057		866		933	
	うち一般財源		2,952		830		857	
人件費 (千円) B			8,088		8,088		8,088	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.68		4488		0.68	
	臨時職員 (人・千円)		2		3600		2	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	市民活動支援センターや登録団体を多くの人に知ってもらい、あらゆる分野の市民活動団体を増やしていく。	③取組の課題	市民活動団体の住み分けが難しく、本来、目指すべき地域貢献や行政等と協働できる市民活動団体の育成ができていない。
②R2年度に実施した取り組み	市民活動支援センターが例年開催するイベントはコロナ禍のため、中止したものがあつたが、コロナ禍による相談窓口を設置し、相談業務を行った。	④今後の改善計画	東員町第6次総合計画のKPIにより行政や自治会等と協働できる市民活動団体の数を増やしていく。